



ロータリーは
世界をつなぐ



RI第2510地区 留萌ロータリークラブ

会報

2019 ▶ 2020
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ
会長目標

クラブの活性化と行動は
世界・地域に向けて

会長／福士 幸子 幹事／串橋 伸幸

プログラム

- 本日
会員卓話「我が生い立ち」
桜元 克則 会員
- 次週予定
「移動夜間例会」

No. 2847
第17回 11月6日

出席報告

前
例
会

会員総数	31名
出免会員	2名
出免出席	2名
基準会員出席	19名
出席率	58.62%

前
々
会

第14回 10月16日	
欠席会員	17名
内メイクアップ	4名
修正出席率	62.06%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

🖋️ 会長報告

1. 次週11月6日(水)の例会より例会場が、留萌産業会館2階に変更になります。ホテル神居岩さんには4ヶ月間大変お世話になりました。会員の皆さんは次週からお間違えない様に例会に出席してください。

けてどうぞよろしく申し上げます。

👤 ニコニコBOX

- 山内会員の卓話楽しみにしています。
福士会長
- 米寿のお祝いありがとうございました。
渡部会員

📄 幹事報告

- 明日10月31日(木)午後6時30分より、理事役員委員長会議が開催されます。対象者の方はよろしく申し上げます。場所は商工会議所1階議員クラブです。
- 地区補助金事業についてのお願いです。先日皆様にお願ひしたご協力の納付期限が明日31日となっております。11月17日の事業成功に向

前 回	308,000円
今 回	7,000円
累 計	315,000円

プログラム……………

(前回の続き 出村知佳子様)

ロータリアンの方や商工会議所の方にも協力頂いて、リサイクル石鹸を作るという事で村の人達にも色々考えてもらいました。村々で色々な果物が採れるのでそれを利用して作り、販売して頂いて、先ほどの水の維持管理費に当てようというビジネスプランを立てました。昨年も水事業で水の設備をしましたが、設置当初はキレイな物ですが、年数が経つと維持管理の費用がかかってきます。学校に設置している浄水器は家庭用の浄水器を大きくしたもので、フィルターを通してろ過をしていますので、当然フィルター交換も必要になってきます。10年・20年と学校の浄水器を使いますので、修繕が必要になります。初めは村の人から使用料を取っていたので良かったのですが、先生が転勤になったりで、使用料を集められなくなり、どうすれば良いかという事で、村の人達に石鹸づくりを覚えてもらって修繕の費用を捻出する仕組みを考えました。そしてプログラムを変更する事に致しました。このリサイクル石鹸とウオッシュアッププログラムの研修にみんなが参加して、教えて行こうという事になりました。初めは1つの研修で20人位のチームで行う事を考えていましたが、1つの研修に100人位来て頂いて、セッション3まで石鹸の作り方ですとか、ウオッシュアッププログラムをどの様にして子供達に根付かせるのか、地元の保健所、地元の行政、商工会、ロータリアンなど、チームになって実施致します。各地を回るとみんな同じ問題に直面しており、それであればという事で、その地区だけでなく東北部に場所を拡げて事業を考える事に致しました。地元の人達が集まって考えれば思いつく事なのですが、意外に私達がすごいなと考える事が、地元の人達にとっては普通の事と考えられている面が多く、気が付かない事があります。私がこれを思いついたのは過去の写真を見たり、戴いたお土産を見たりして気付いたのですが、この時に3ヶ月間ソファー生活をしまして、3ヶ月間の禁酒も致しました。今回は体力的に難し

いのでスマホを利用して、ベットの途中で申請をしました。今回のグローバルのキーワードは持続可能な事業で、村の文化でした。農村部では同じような問題を抱えており、ロータリーの経営する地元ホテルや行政の協力を得て、ウオッシュと一村一品の石鹸づくりの研修でそれらの地域も支援する事が出来る。申請の最中に試作品を作り、本当に出来るのかなと思いましたが意外とうまくいきました。

これらのグローバルの資金計画ですが、一体どうなっているのか調べると、皆さんもお聞きになった事があると思いますが、DDFと言うものがあります。地区で使える財団の資金なのですが、そこから拠出をいただいています、2510地区からは21,088ドル拠出して頂きました。そして、今度はWFから22,688ドルが頂けます。この2つを合わせて45,976ドルと大変大きな金額ですが、このDDFは全て当地区の皆様方の財団への寄付によって成り立っており、WFも世界のロータリアンの皆さんからの寄付で成り立っております。よく“50%はWFに50%はDDF”にという言葉を目にしたことがあると思いますが、皆さんからの年次寄付からこれらが成り立っています。大変感謝しております。

今回、村の文化による安全な水でタイ東北の子供達を救う事業とタイトルを変えまして、3回目の再提出をさせて頂きました。それによりめでたく採用に至りました。これは、対象地域を拡げた事と維持管理のビジネスプランを評価して頂いた事が良かったのではないかと考えています。対象地域が最初はブンカン県だけだったのですが、この研修を東北部全体に拡げて行い、同じくブンカン県小学校に浄水器を設置するのはそのまま、クリーンウォーターシステムを設置するとしています。今回も1月に検証ツアーを予定していますので、参加できる方はぜひ参加して頂き、ちゃんと事業がなされているかを見て来て頂ければと思います。水と衛生のプロジェクトが大きな結果を生んでいきます。手洗い習慣を身に着けるのも大きな成果で、子供達の健康と生命が救われる事になります。持続可能な事業にするには地元の文化や特性を取

り入れる事がとても大事で、それが持続可能なグローバル事業につながる事を今回の活動で学ばせて頂きました。

親睦が未来への力になります。この様なアイデアが出て来るのも、毎年現地を訪れているからではないかと思えます。この様な訪問で培った親睦が地域の人や事業の力になる事を今回の申請を通して学ばせて頂きました。皆様のご支援で子供達の未来が変わります。皆様の温かい財団への支援が未来の子供達を変えていきます。どうか今後とも絶大なご支援を財団に与えて頂きたいと思えます。

本日は貴重なお時間を頂き、ありがとうございました。

~~~~~  
会員卓話「我が生い立ち」

## 山内 和則 会員

今年7月に入会させて頂きました留萌信用金庫の山内です。

この度は「我が生い立ち」ということで、貴重な機会を頂き誠にありがとうございます。

仕事柄、お客様の前でお話をする事はありますが、自分の生い立ちを話すという事はなかったもので、こういう機会を頂きあらためて自分を振り返ることができました。これを機に私のことを少しでも知って頂ければと思いますので宜しくお願いいたします。

私は昭和39年12月に山内家の長男として、旭川市で生まれました。当時の家族構成は、祖父・祖母・父・母・叔母・私の6人家族でした。祖父・祖母は母方で、母が3人姉妹の長女でしたので、父がマスオさんのように婿入りをしました。

祖父が永山町での農家を離農し、市内のれんばいで青果店を開業、その2年後に私はその家族として生まれました。祖父・祖母にとっては初孫ということもあり、わがままな思いをしたと聞いております。

お店の奥と2階が居住スペースで、風呂なし、共同トイレという環境でした。子供の頃、銭湯の帰り道に駄菓子屋でお菓子を買って貰ったよいい思い出と、夜独りで共同トイレに行くという

怖い思い出が残っております。

八百屋の孫の特典は、山内青果店の商品である、果物・飲料水・アイスは黙認のうでで窃盗できたことです。(ただし、他の店では犯罪はしていません)

小さいときからお客様より話しかけられ、人間慣れをしていたようです。(私の兄弟は5歳下に妹がおり、現在は旦那さんと二人暮らしで石狩市に住んでおります。)

小学校は朝日小学校というところで、先生・友達にも恵まれ、楽しい6年間と記憶していません。当時はテレビゲームというものもなく、ひたすらアウトドアでアナログな生活をしておりました。5・6年生になると野球を一生懸命しました。当時はリトルリーグもなく、監督・コーチもなく、勝手にチームを作り、隣町の小学校の同学年に試合申込状たるものを作り、日曜日に試合したことを覚えています。

50代でスマホを持つこととなった今、当時の小学校6年1組のクラスメイトと8名のLINEグループを作り、たまに現況報告や昔話で盛り上がることも、うれしい時間となっています。

北都中学校に進むとバスケット部へ入部、そして進学した旭川西高校でもバスケット部に入部、6年間バスケットボール一筋の学生生活でした。旭川西高校の最後の年は書道部にも入り、木簡という臨書を書き続け、全道大会にも参加しました。

少し時間が戻りますが、私が中学2年に山内青果店は廃業し、祖父は隠居生活、父は卸売市場のサラリーマンに転職をしました。青果店の命は16年であったんだと改めて計算したところであります。中学2年から高校2年まで、閉店のままの青果店の居住スペースで生活をした後、祖父が離農時に建てた永山の賃貸用住宅を自宅として使用することとなり、永山に引越をしました。この頃には家庭の事情を察し、就職組として大学進学を断念しました。

就職活動の求人は、いろいろありましたが、縁があり留萌信用金庫に内定を頂きました。その後、昭和58年4月、初店舗が旭川北支店(末広)で22歳まで勤務し、親元から通えたことが、

## 第16回 10月30日(水) 天候/曇

---

当時仕事がつくても我慢できたものと両親に感謝しております。その後、羽幌支店で初の下宿暮らし（下宿のおじさん・おばさんが大変よくしてくれました）、24歳の時に同期で入庫した今の妻と結婚をしました。結婚して3年後に長女、その4年後に長男が生まれました。

羽幌支店のあとは、本部審査部、札幌西支店（平成8年、当時は札幌3店目の開設準備委員として）、再び本部審査部、本店営業部を経て、現在の総合企画部と、融資畑主体で本部と営業店は半分ずつで勤務をしてきました。

今年6月、常勤理事として金庫の役員となり、まだまだ未熟ですが、頑張っって参りたいと思っております。

これからも、自分と相手（例えば、部下と自分、家族と自分、金庫と自分、お客様と自分）との関係において、いつも「バランスよく」考えられる人と（相手側から見た自分）していきたいと思ひます。

現況ですが、娘は昨年結婚して旦那さんの勤務地である岩内町に住んでいます。（近い将来におじいちゃんになることもいいなあと思ひしています）息子は、来年4月より札幌の企業に就職が決まり、私以外の家族が住んでいる札幌のマンションから通勤でき、私が就職したときと同じように親元からの社会人スタートとなります。妻は、ぼけ防止と友達作りのため、近くのドラッグストアに一日4時間勤務、帰宅後は昨年から飼っている猫と癒やしの時間を楽しんでいます。

「我が生い立ち」のスタートとなった、昭和39年の山内家の家族というと、祖父・祖母・父は他界、母は76歳で生存しておりますが、2年ほど前より認知症にかかり、だんだんと症状が重たく、今年の4月より入院をしています。（月に1度は面会しておりますが、幸いにして、息子だと認識してくれているのが嬉しいことです、会いに行ったときは、恥ずかしくて今までしたことはありませんが、私から少しだけ手を握るようになっています。）

自分のルーツが、形から記憶に変わっていくものなんだと、最近特に強く思ひ、来月11月1

日から、高知市内に住んでいる父の弟と、京都市内に住んでいる父の妹に会いに行こうと思ひています。おじさんやおばさんには悪いですけど、今度つてあるのかないのかわからないので、元気うちに（形があるうちに）顔を見に行こうと思ひております。

私は現在、本部で業務推進部も兼務しており、地域貢献に関わる仕事も多く、金融のお仕事以外でも多くの方とふれあう機会があります。

そして今年、留萌ロータリークラブに入会し皆様と交流をさせて頂く機会をいただきました。

これからも、仕事やロータリー活動を通じて皆様とふれあい、ご縁を大切にしたいと思ひておりますし、地域に少しでも貢献できるよう頑張っっていくと思ひておりますので宜しくお願ひいたします。

以上、まとまりのない話で恐縮ではあります但、私の生い立ちについてお話をさせて頂きました。本日はご静聴ありがとうございました。